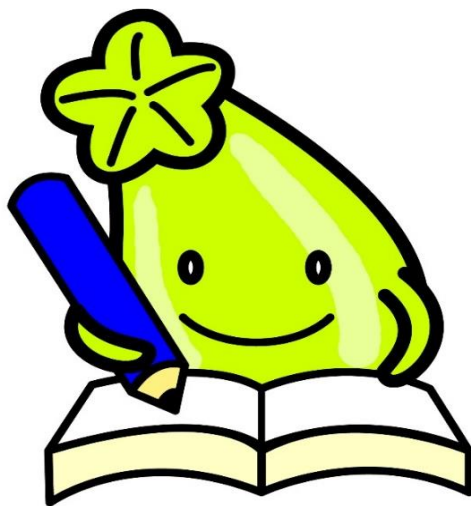


令和2年度 東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和3年1～2月実施

大阪市東成区役所

I アンケートの概要

1) 調査の目的

東成区の事業や取組みについて、区民の皆さんから、広くご意見や評価をいただくことで、様々なニーズを把握し、今後の東成区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的として、アンケートを実施しました。

2) 調査のテーマ

令和2年度第2回区民アンケートのテーマは次のとおりです。

■防犯・交通安全 ■地域福祉 ■在宅医療・在宅介護 ■まちづくり

3) 調査の実施状況

調査期間 : 令和3年1月20日～2月3日

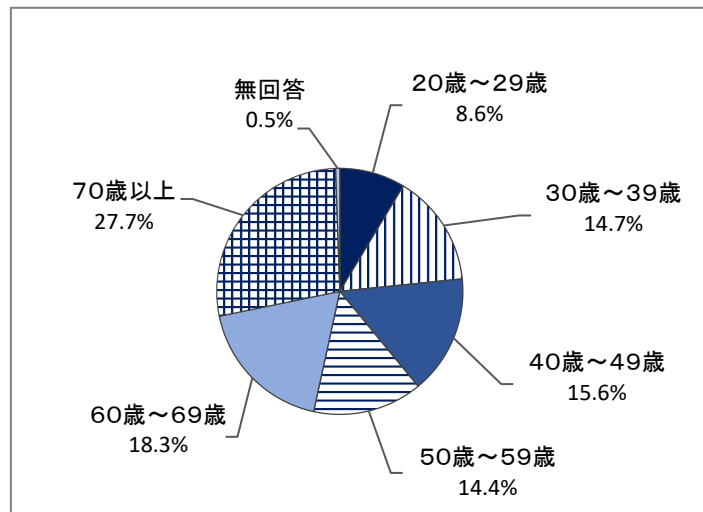
方 法 : 郵送と大阪市行政オンラインシステム

対 象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,300名

回答者数 : 556名(42.8%)

4) 回答者属性

	全体	556
年 齢 別	20～29歳	48
	30～39歳	82
	40～49歳	87
	50～59歳	80
	60～69歳	102
	70歳以上	154
	無回答	3



※アンケート結果については、小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

※問1から問5までは、回答者属性にかかる質問です。

Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆◆

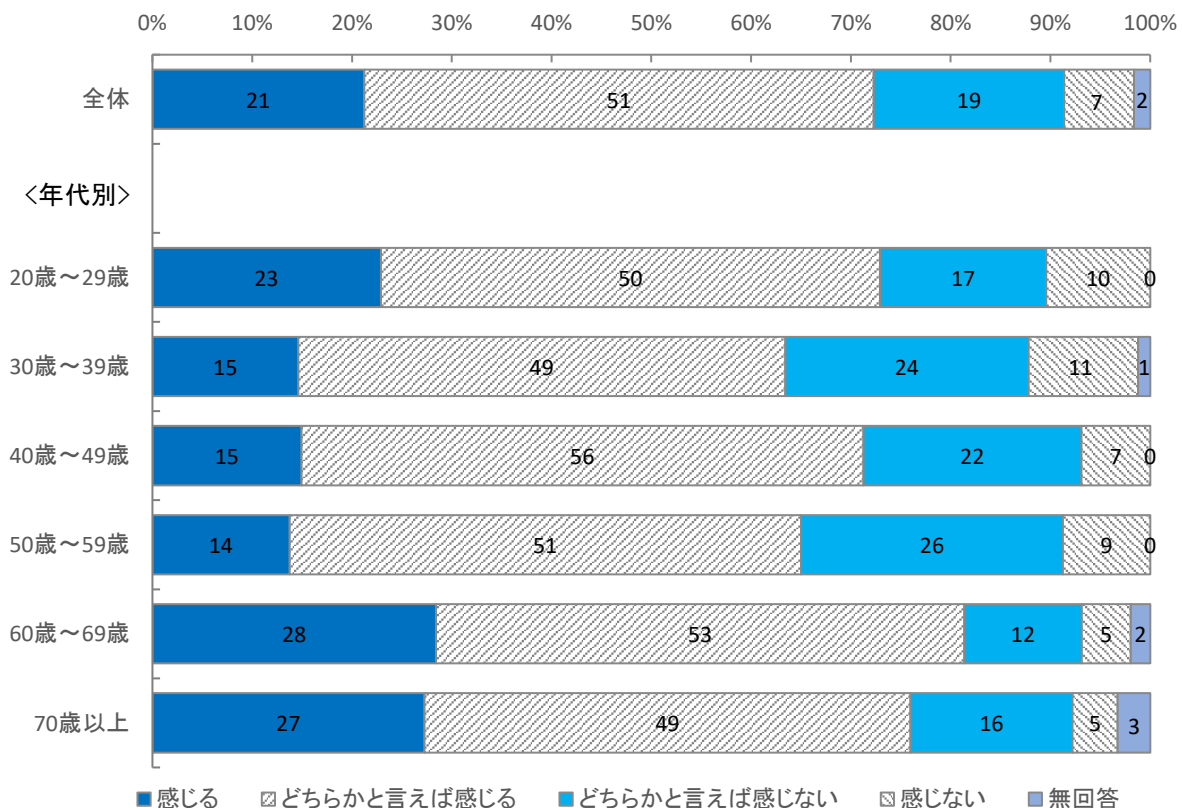
東成区では、防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組んでいます。
また、安全で安心な通行環境整備のため、地域や関係機関と連携し、様々な取り組みを行っています。

<区役所や町会・地域団体の取り組み>

- ・あんパトチームによる校外授業時での引率、見守り
 - ・青色防犯パトロールカーによる地域巡回
 - ・子ども向け防犯教室(保育所(園)、幼稚園、小学校)
 - ・区民まつりや安全安心ミニフェスタ等での防犯啓発
 - ・防犯カメラの設置 ・子ども見守り隊 ・こども110番の家 など
- ※あんパトチーム:東成区役所市民協働課に在籍する地域安全担当職員

問6 東成区では、区役所、警察、建設局、地域団体が連携して、次のような様々な防犯活動に取り組んでいます。これらをふまえ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じますか？

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	118	21
2 どちらかと言えば感じる	284	51
3 どちらかと言えば感じない	106	19
4 感じない	39	7
無回答	9	2
回答者数	556	



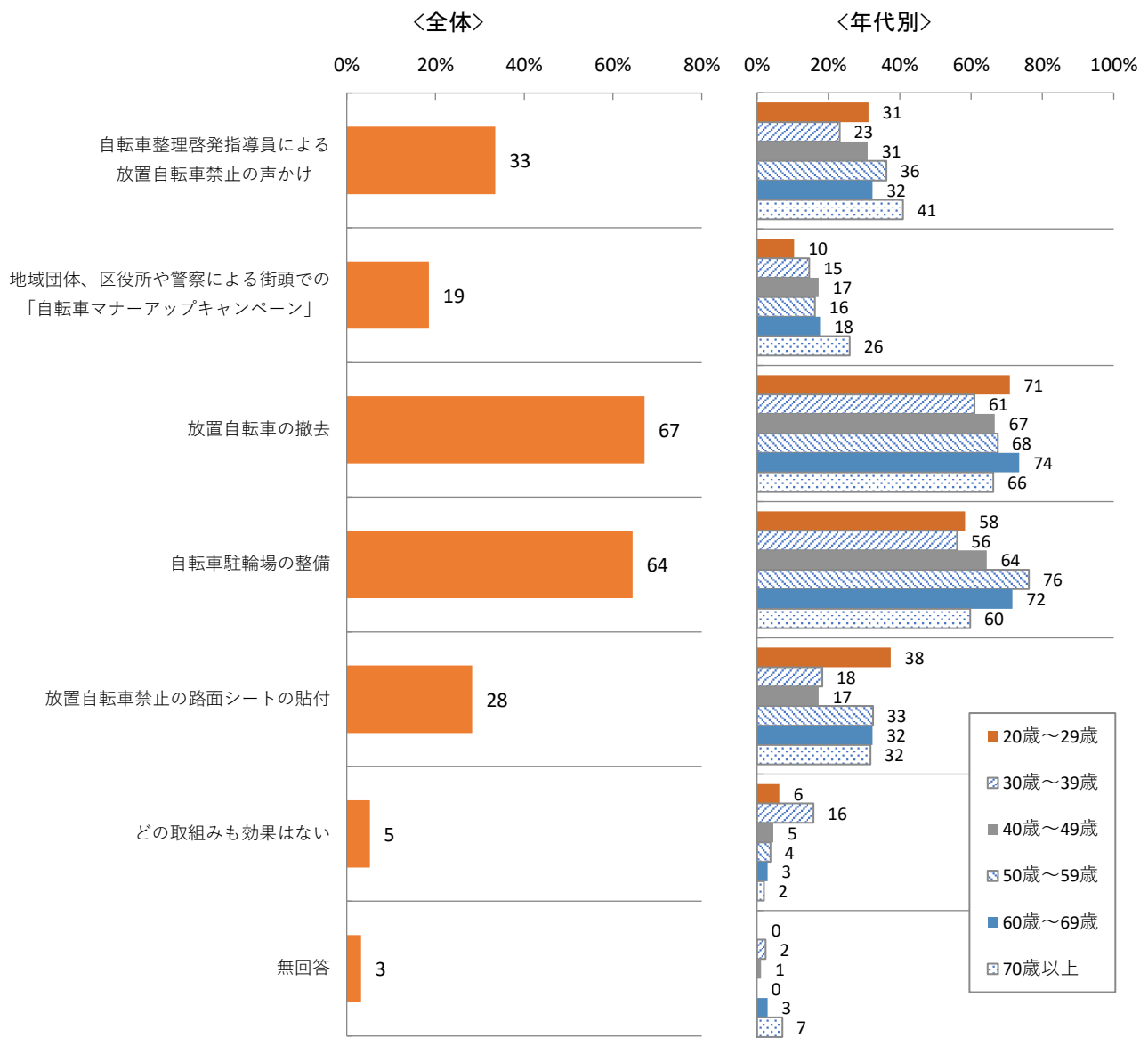
●7割以上の方が安全で安心なまちづくりが進んでいると実感

- ・「感じる」が21%、「どちらかと言えば感じる」が51%となり、あわせて72%の方が、安全で安心なまちづくりが進んでいると回答されました。
- ・年代別で見ると、「感じる」と回答した60歳以上の方の比率が高くなっています。今後、幅広い世代への啓発活動のあり方を検討し、引き続き関係機関と連携の上、安全で安心なまちづくりを進めます。

◆◆◆◆◆【防犯・交通安全について】◆◆◆◆◆

問7 鶴橋駅周辺では、自転車利用者や歩行者にとって、事故のない安全で快適な通行環境を整備するために、様々な活動に取り組んでいます。次の中で特に効果があると考えられる取組みは何ですか？
【3つ以内で複数回答可】

	項目	回答数	比率(%)
1	自転車整理啓発指導員による放置自転車禁止の声かけ	186	33
2	地域団体、区役所や警察による街頭での「自転車マナーアップキャンペーン」	103	19
3	放置自転車の撤去	373	67
4	自転車駐輪場の整備	358	64
5	放置自転車禁止の路面シートの貼付	157	28
6	どの取組みも効果はない	29	5
	無回答	18	3
	回答者数	556	



●放置自転車撤去や駐輪場整備などの直接的な取組みが効果的と考えられている

- ・「放置自転車の撤去」が67%、「自転車駐輪場の整備」が64%と目立って高く、これら2項目に回答が集まりました。次いで「指導員による放置自転車禁止の声かけ」が33%でした。
- ・取組みの上位3項目は昨年度アンケートと同じ結果となり、直接的な取組みが効果的と考えられています。
- ・鶴橋駅周辺では、令和2年度に引き続き3年度にも駐輪設備の増設を予定しており、引き続き有効な取組みについて検討してまいります。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

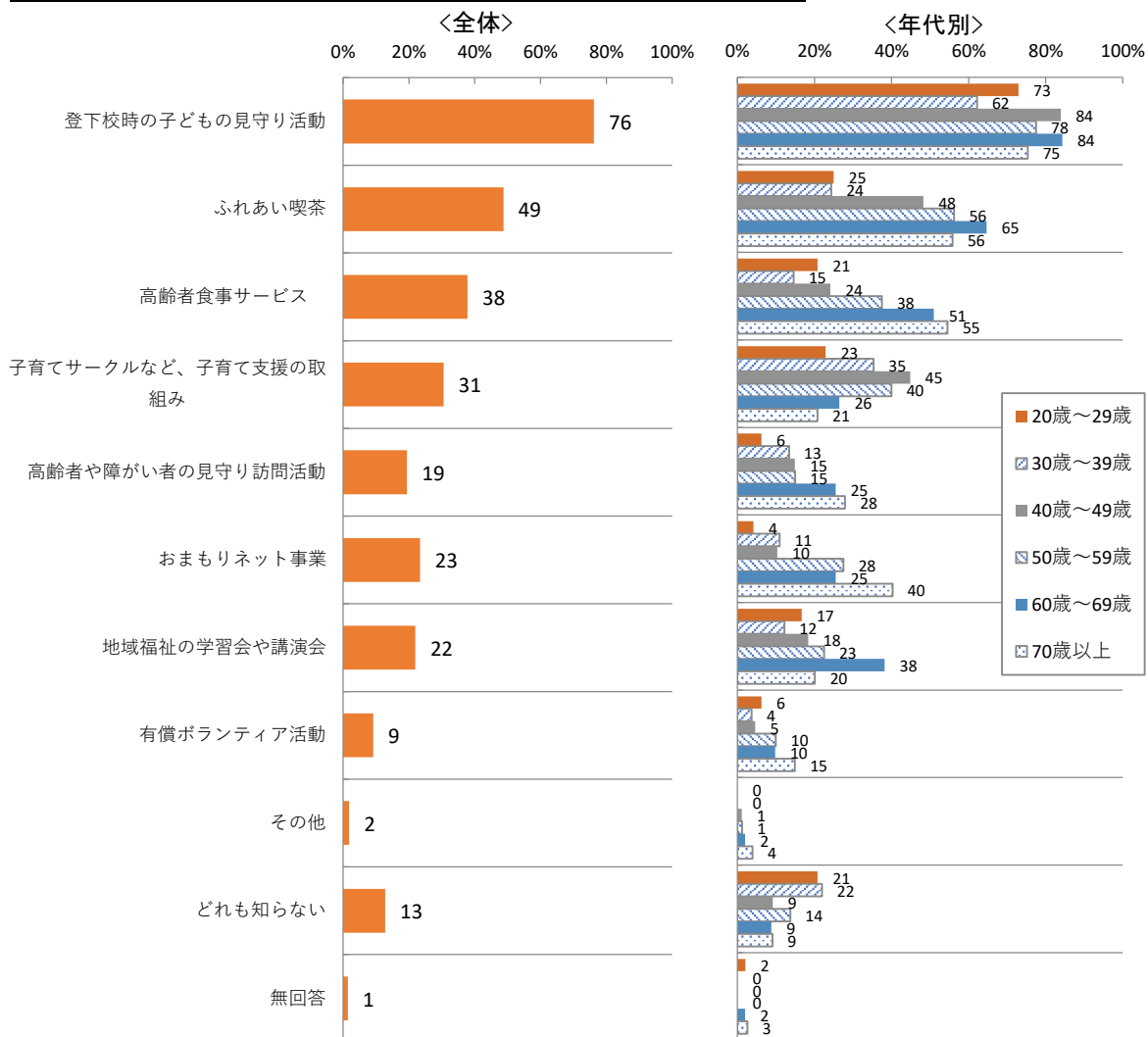
東成区では、地域における支え合い活動が充実し、区民の皆様が住みなれた地域で安心して生活できるよう、地域の方々と専門機関と連携して地域福祉の取組みを進めています。

問8 東成区では、様々な地域福祉の取組みを、地域が主体となって行われています。次の中で知っている取組みは何ですか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 登下校時の子どもの見守り活動	424	76
2 ふれあい喫茶	271	49
3 高齢者食事サービス	210	38
4 子育てサークルなど、子育て支援の取組み	170	31
5 高齢者や障がい者の見守り訪問活動	108	19
6 おまもりネット事業	130	23
7 地域福祉の学習会や講演会	122	22
8 有償ボランティア活動	51	9
9 その他	10	2
10 どれも知らない	71	13
無回答	8	1
回答者数	556	

●その他の主な意見

- ・百歳体操
- ・東成区体育祭（歩こう会）



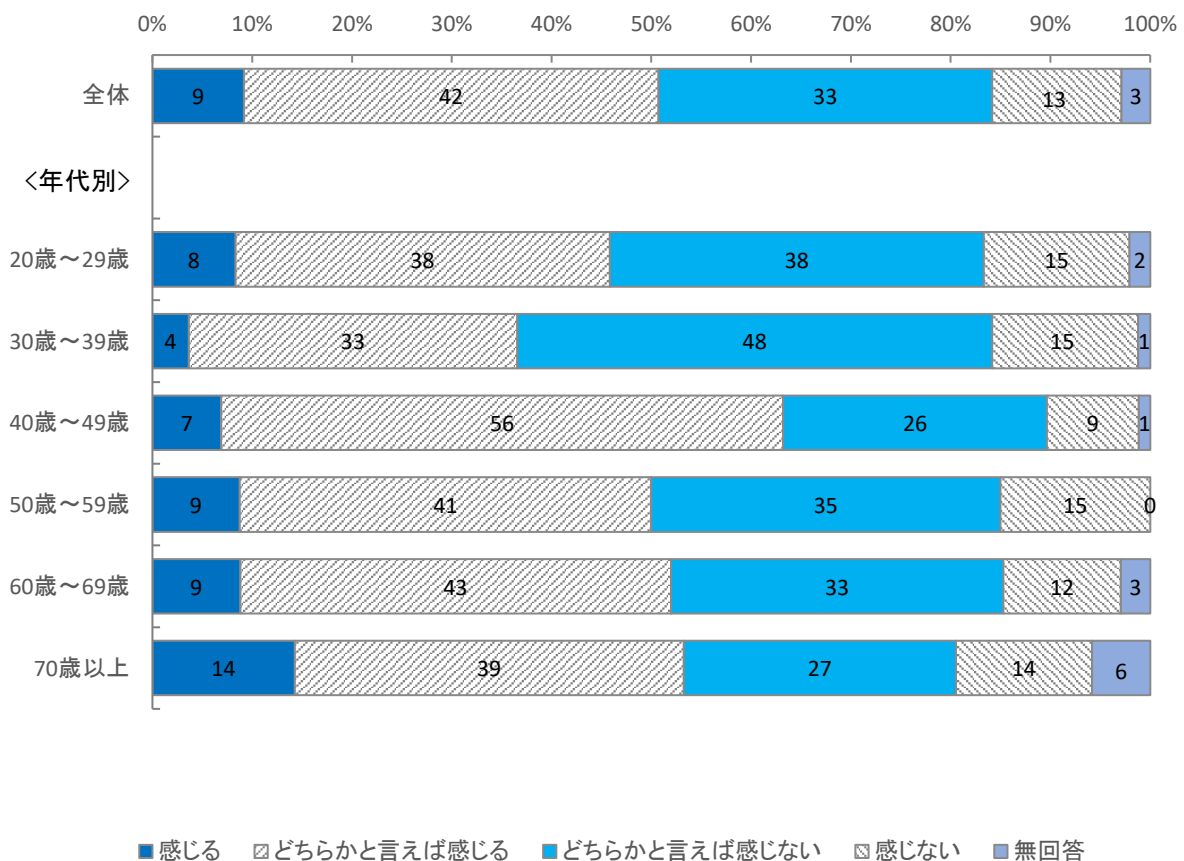
●地域福祉の取組みでは「登下校時の子どもの見守り活動」が浸透している

- ・地域福祉の取組みについては、「登下校時の子供の見守り活動」が76%で最も知られており、「ふれあい喫茶」が49%、「高齢者食事サービス」が38%、「子育てサークルなど、子育て支援の取組み」が31%と続きます。
- ・認知度が低い取組みについても、広く知っていただけるよう区広報紙やホームページ等を活用し、周知に努めます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問9 問8のように、様々な地域福祉の取組みが行われていますが、その取組みが充実してきていると感じますか？

項目		回答数	比率(%)
1	感じる	51	9
2	どちらかと言えば感じる	231	42
3	どちらかと言えば感じない	186	33
4	感じない	72	13
無回答		16	3
回答者数		556	



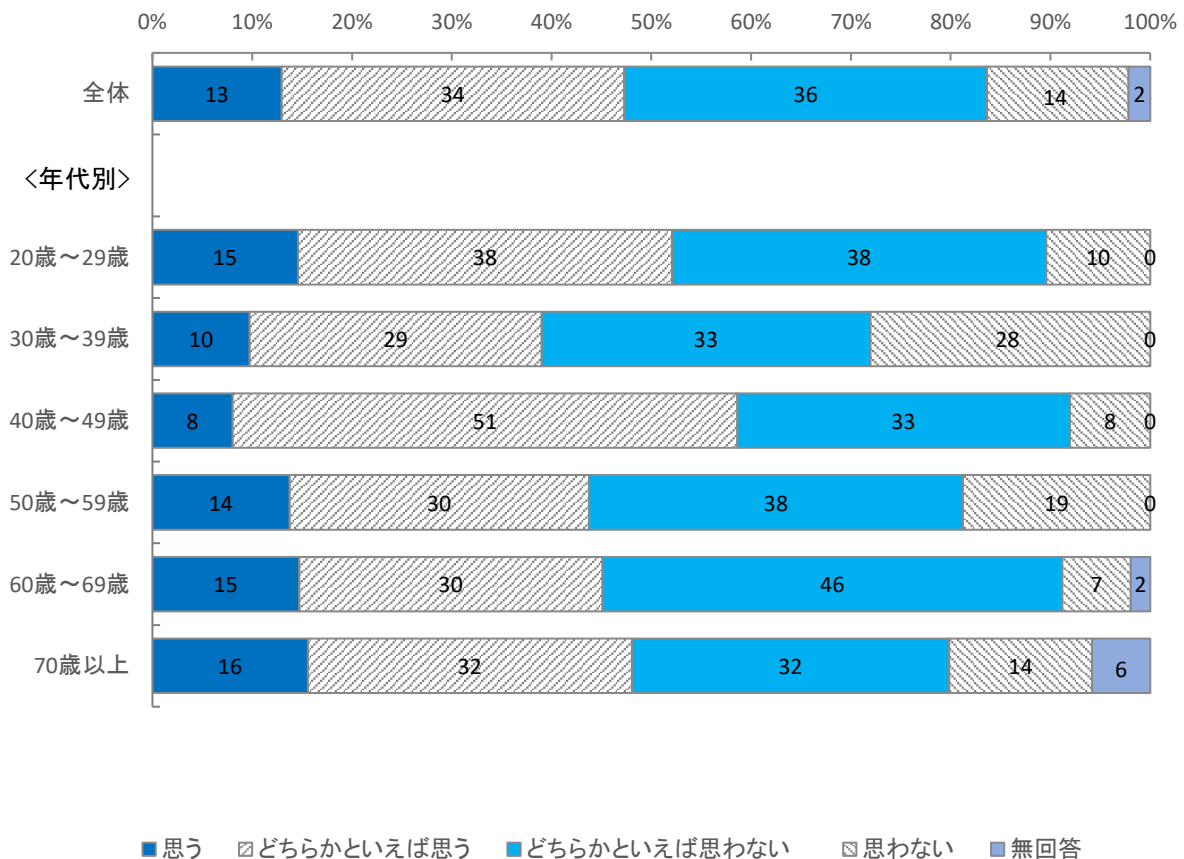
●過半数の方が東成区の地域福祉の取組みが充実してきていると実感

- ・地域福祉の取組みが充実してきていると感じるかについては、「感じる」が9%、「どちらかといえば感じる」が42%となっており、51%の方が肯定的な回答をされました。
- ・年代別に見ると、特に40代で評価が高く、肯定的回答が60%を超えています。
- ・若年層において評価が低いため、取組み内容について効果的な周知方法を検討するとともに、地域福祉の取組みの充実に努めます。

◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問10 各地域でさまざまな方が地域福祉活動に取り組んでおられますが、それらの取組みの中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると思いますか？

項目		回答数	比率(%)
1	思う	72	13
2	どちらかといえば思う	191	34
3	どちらかといえば思わない	202	36
4	思わない	79	14
無回答		12	2
回答者数		556	



●5割弱の方が「声掛け」「見守り」等の取組みが行われていると感じている

- ・「声掛け」「見守り」等が行われていると「思う」が13%、「どちらかといえば思う」が34%となっており、50%近くの方が、これらの取組みが行われていると感じています。
- ・年代別で見ると、40代で取組みが行われていると感じている割合が高く、60%近くとなっております。
- ・より多くの方に地域のつながりを実感していただけるよう、より一層地域福祉活動の活性化を支援します。

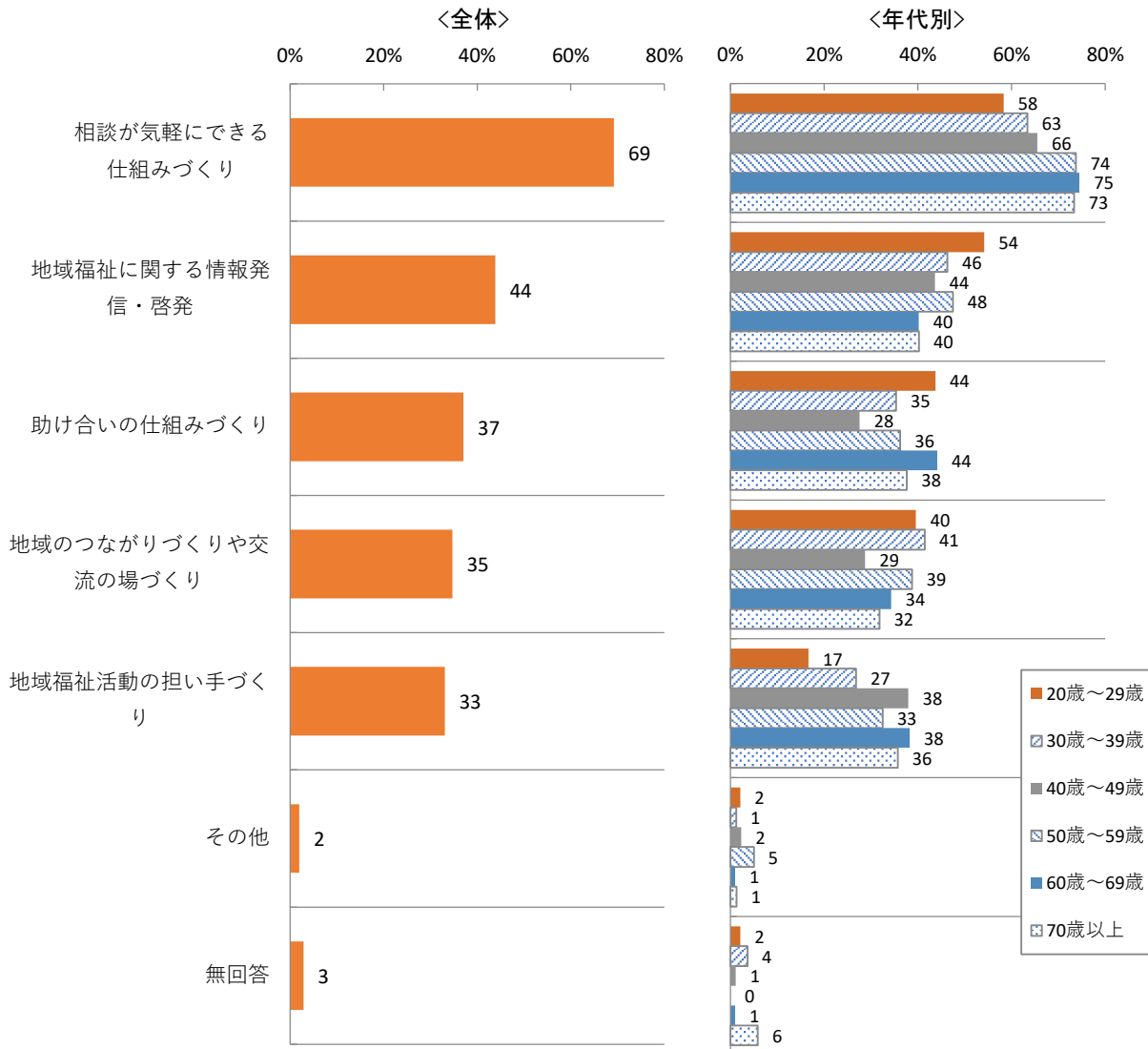
◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆

問11 今後、地域福祉をより充実させるためには、主にどのような取組みが必要だと思いますか？
【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 相談が気軽にできる仕組みづくり	385	69
2 地域福祉に関する情報発信・啓発	244	44
3 助け合いの仕組みづくり	206	37
4 地域のつながりづくりや交流の場づくり	193	35
5 地域福祉活動の担い手づくり	184	33
6 その他	11	2
無回答	16	3
回答者数		556

●その他の主な意見

- ・対象者が分からず入りにくい
ため、各取組みの分かりやすい
説明が欲しい。
- ・地域の方の訪問、声かけ



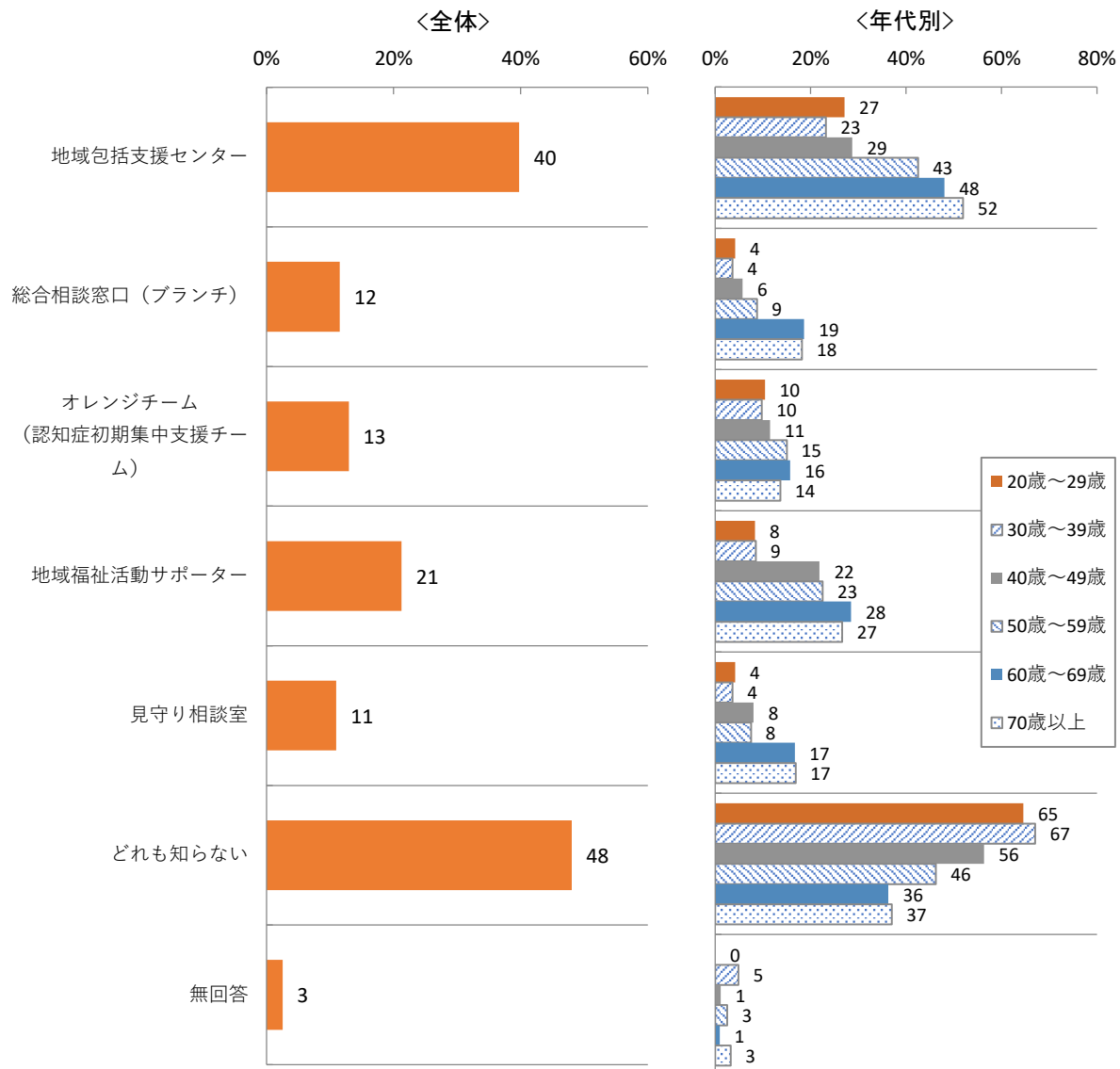
●約7割の方から「相談が気軽にできる仕組みづくり」が必要と考えている

- ・「相談が気軽にできる仕組みづくり」が69%と最も多く、「地域福祉に関する情報発信・啓発」が44%、「助け合いの仕組みづくり」が37%と続いています。
- ・年代別で見ると、「相談が気軽にできる仕組みづくり」は50代以上で7割を超えて高い傾向にあります。
- ・今後も関係機関と連携し、地域の身近なところで福祉に関する相談ができる体制を推進するとともに、地域の相談窓口や地域福祉に関する情報を広く発信していきます。

◆◆◆◆◆【地域福祉について】◆◆◆◆◆

問12 東成区には、高齢者の方の支援や、地域福祉活動の推進などを行う、様々な相談窓口があります。次のうち、知っているものはありますか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 地域包括支援センター：高齢者のくらしや介護の相談窓口	221	40
2 総合相談窓口（プランチ）：高齢者のくらしや介護の相談窓口	64	12
3 オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）：認知症が気になる（お困りの）方の相談窓口	72	13
4 地域福祉活動サポーター：身の回りの困りごと相談や、ふれあい喫茶等集いの場づくりの推進員	118	21
5 見守り相談室：日頃からの見守り活動や、住民どうしのつながりづくりの相談室	61	11
6 どれも知らない	267	48
無回答	14	3
回答者数	556	



●「地域包括支援センター」が地域の相談窓口として最も知られている

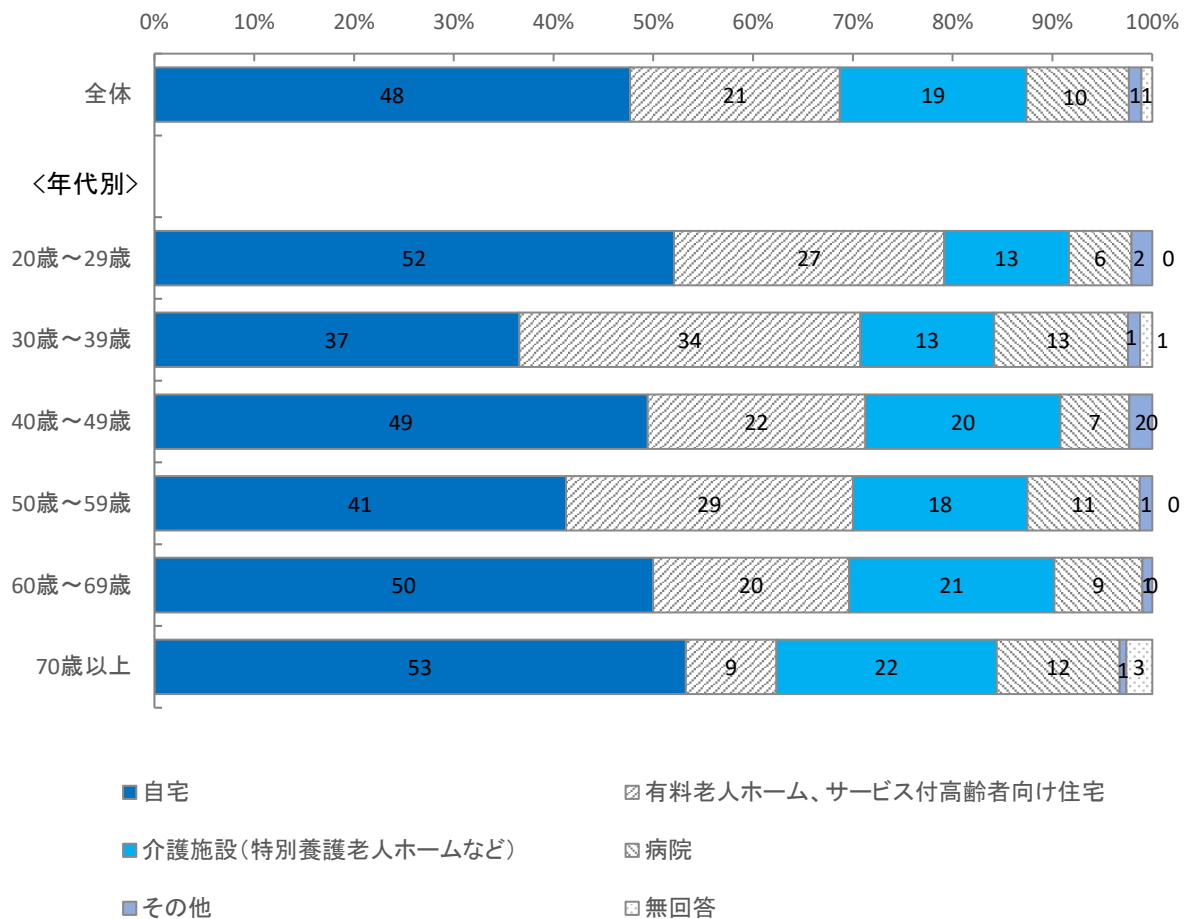
- ・「地域包括支援センター」が40%と最も高く、「地域福祉活動サポーター」が21%で続いています。ただし、「どれも知らない」が48%と割合としては最も高くなっています。
- ・「どれも知らない」が半数近くの割合となっており、いずれかの窓口を知ってもらい相談していただくことが重要であることから、広報紙やホームページ、各種リーフレット等を活用し、効果的な周知に努めます。

◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問13 もしも、あなたが医療と介護が同時に必要な状態（入院の必要はないが、通院するのは困難な状況）になった場合、どこで過ごしたいですか？

項目		回答数	比率(%)
1	自宅	265	48
2	有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅	117	21
3	介護施設（特別養護老人ホームなど）	104	19
4	病院	57	10
5	その他	7	1
	無回答	6	1
回答者数		556	

●その他の主な意見
・孫たちと一緒にいたい
・まだまだ現実味がなくて、分からない。



●自宅で過ごしたい方が半数近くを占める

・「自宅」が48%と最も多く、「有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅」が21%、「介護施設（特別養護老人ホームなど）」が19%と続きます。

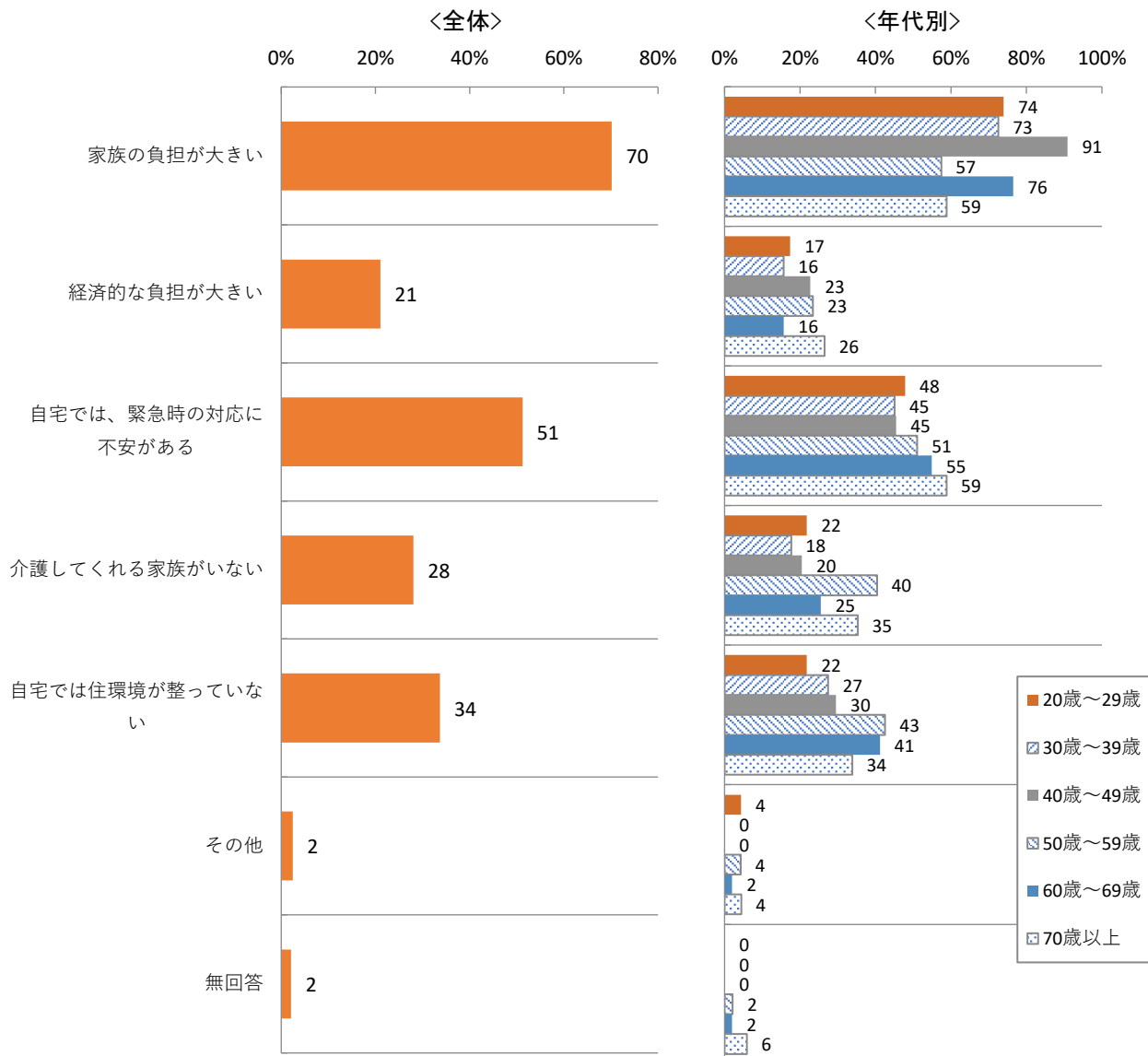
◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問14 問13で「1 自宅」以外の回答をした方にお聞きます。なぜ、自宅以外で暮らしたいと思いますか？
【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 家族の負担が大きい	200	70
2 経済的な負担が大きい	60	21
3 自宅では、緊急時の対応に不安がある	146	51
4 介護してくれる家族がない	80	28
5 自宅では住環境が整っていない	96	34
6 その他	7	2
無回答	6	2
回答者数	285	

●その他の主な意見

- ・病気があるので病院の方が安心
- ・その時にしないと分からない。



●自宅以外で暮らしたい理由として「家族の負担が大きい」が7割

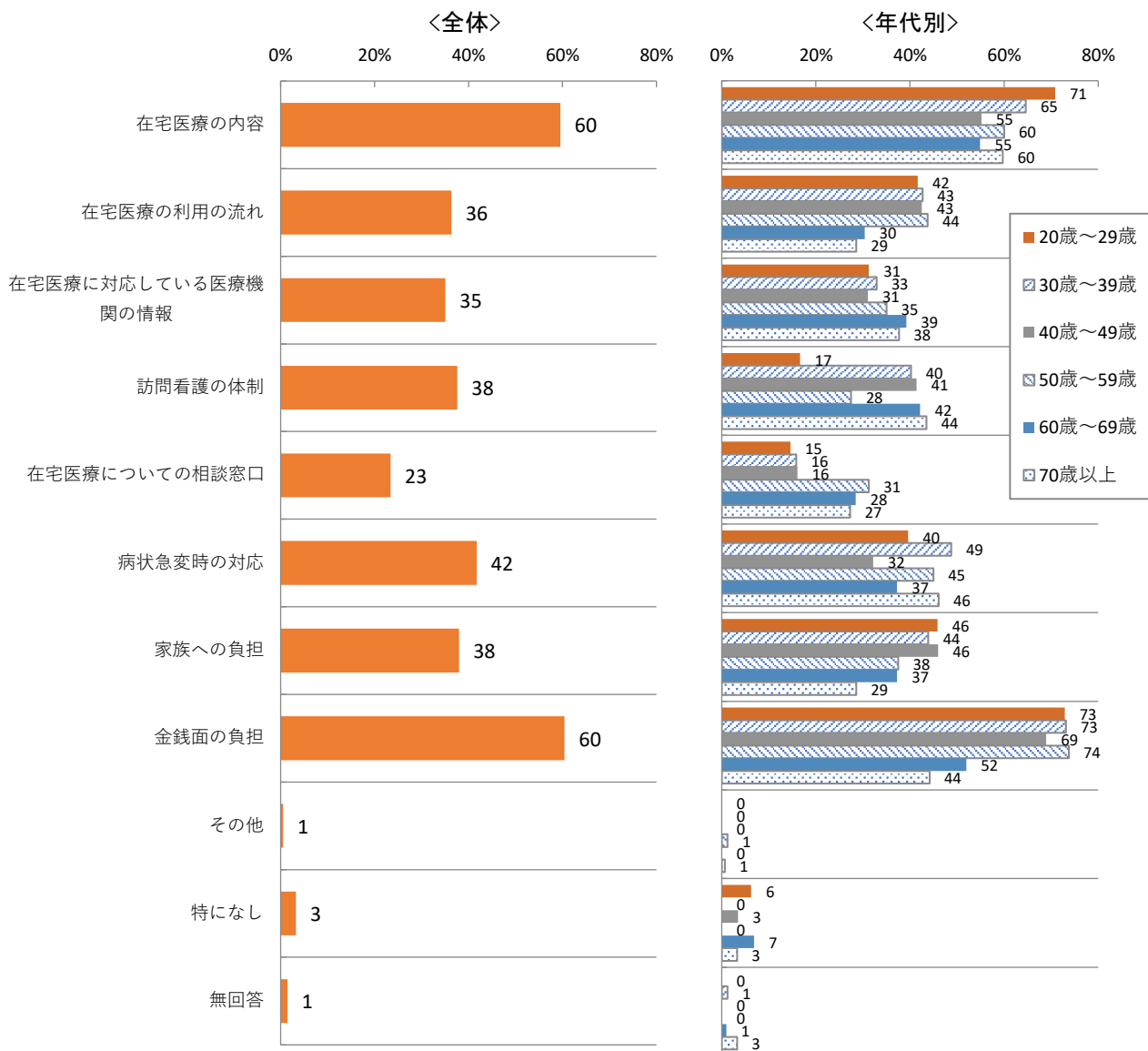
- ・医療と介護が同時に必要な状態となった場合に、自宅以外で暮らしたいと回答された理由は「家族の負担が大きい」が70%と最も多く、「自宅では、緊急時の対応に不安がある」が51%、「自宅では住環境が整っていない」が34%と続きます。
- ・年代別で見ると、特に40代で「家族の負担が大きい」が高く、90%を超えています。

◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問15 あなたが在宅医療を受ける場合、知りたい情報は何ですか？【4つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 在宅医療の内容	331	60
2 在宅医療の利用の流れ	202	36
3 在宅医療に対応している医療機関の情報	195	35
4 訪問看護の体制	209	38
5 在宅医療についての相談窓口	130	23
6 病状急変時の対応	232	42
7 家族への負担	211	38
8 金銭面の負担	336	60
9 その他	3	1
10 特になし	18	3
無回答	8	1
回答者数	556	

●その他の主な意見
・アパートでの在宅医療
について



●在宅医療を受ける場合に知りたい情報は「在宅医療の内容」、「金銭面の負担」

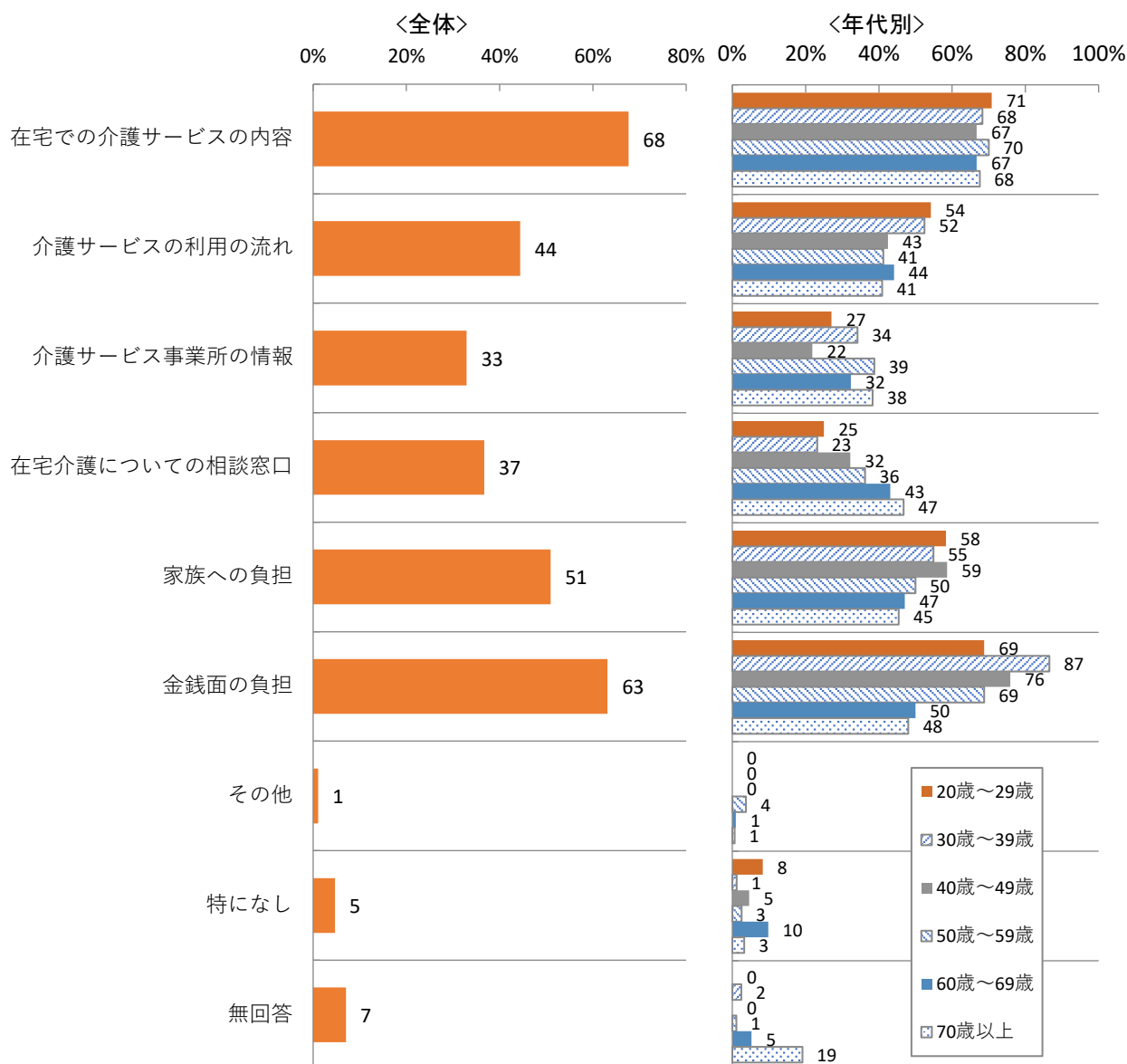
- ・「在宅医療の内容」と「金銭面の負担」がともに60%と最も多く、「訪問看護の体制」、「家族への負担」が38%と続きます。
- ・年代別で見ると、特に50代以下で「金銭面の負担」が高い傾向にあります。
- ・在宅医療に関して、広報紙や区ホームページ等を活用し、効果的な周知に努めます。

◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問16 あなたが在宅介護を受ける場合、知りたい情報は何か？【4つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 在宅での介護サービスの内容	376	68
2 介護サービスの利用の流れ	247	44
3 介護サービス事業所の情報	183	33
4 在宅介護についての相談窓口	204	37
5 家族への負担	283	51
6 金銭面の負担	351	63
7 その他	6	1
8 特になし	26	5
無回答	43	7
回答者数	556	

●その他の主な意見
・介護認定を受けていないが、
介護を受けたい場合。



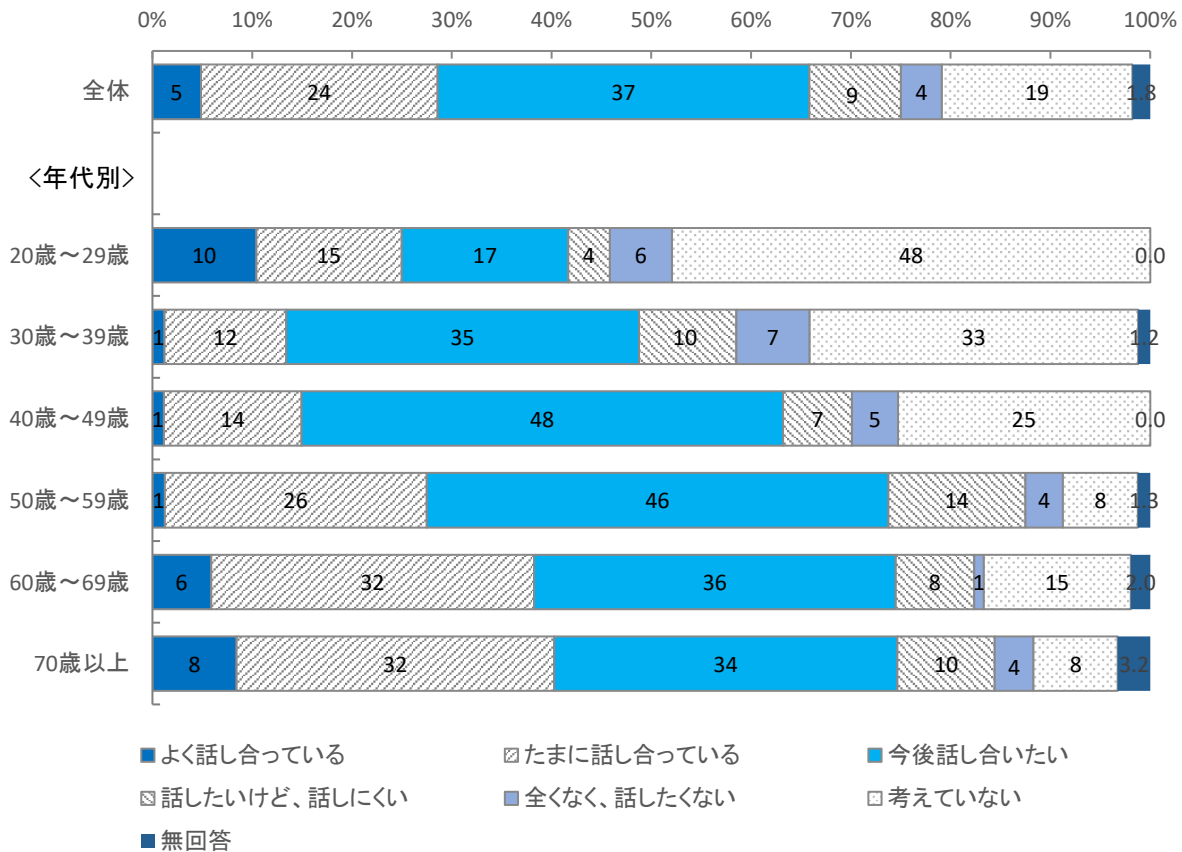
●在宅介護を受ける場合に知りたい情報は「在宅での介護サービスの内容」が約7割

- ・「在宅での介護サービスの内容」が68%と最も多く、「金銭面の負担」が63%、「家族への負担」が51%と続きます。
- ・年代別で見ると、特に30代で「金銭面の負担」が高く、9割近くとなっています。
- ・在宅介護に関して、広報紙やホームページ等を活用し、効果的な周知に努めます。

◆◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆◆

問17 あなたは万が一に備えて、人生の最期が近くなった時の医療や介護の希望について、家族や信頼できる人と話し合ったことがありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 よく話し合っている	27	5
2 たまに話し合っている	132	24
3 今後話し合いたい	207	37
4 話したいけど、話しにくい	51	9
5 全くなく、話したくない	23	4
6 考えていない	106	19
無回答	10	2
回答者数	556	



●話し合っている方の割合は約3割

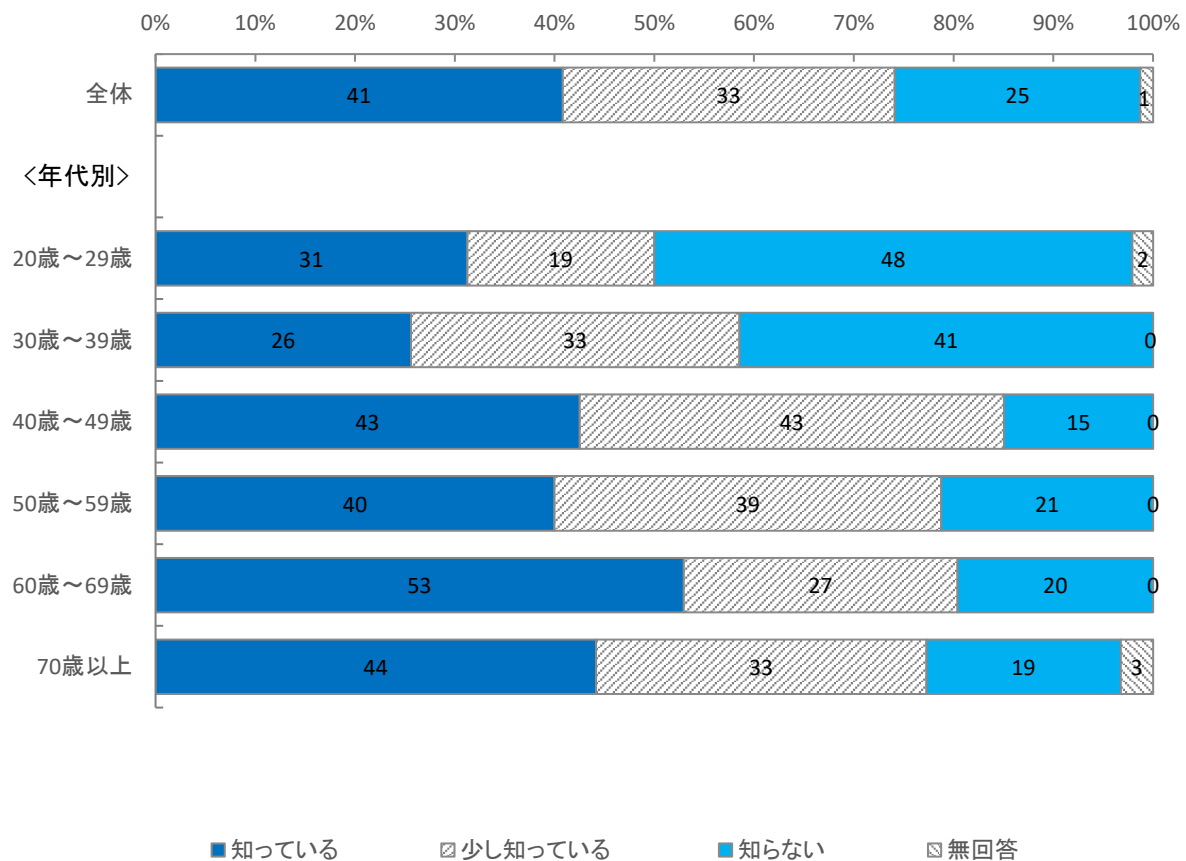
- ・「よく話し合っている」が5%、「たまに話し合っている」が24%となっており、すでに話し合っていると回答した方の割合は29%にとどまり、最も多い回答は「今後話し合いたい」の37%でした。
- ・年代別で見ると、40代以下で「考えていない」の割合が高い傾向です。
- ・東成区版ACP(人生会議)の手引きの周知に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区は、戦後の高度経済成長とともに製造業を中心としたモノづくりで発展してきました。そして現在も、優れた技術を持った企業等が数多く存在します。

問18 あなたは、東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っていますか？

項目		回答数	比率(%)
1	知っている	227	41
2	少し知っている	185	33
3	知らない	137	25
	無回答	7	1
回答者数		556	



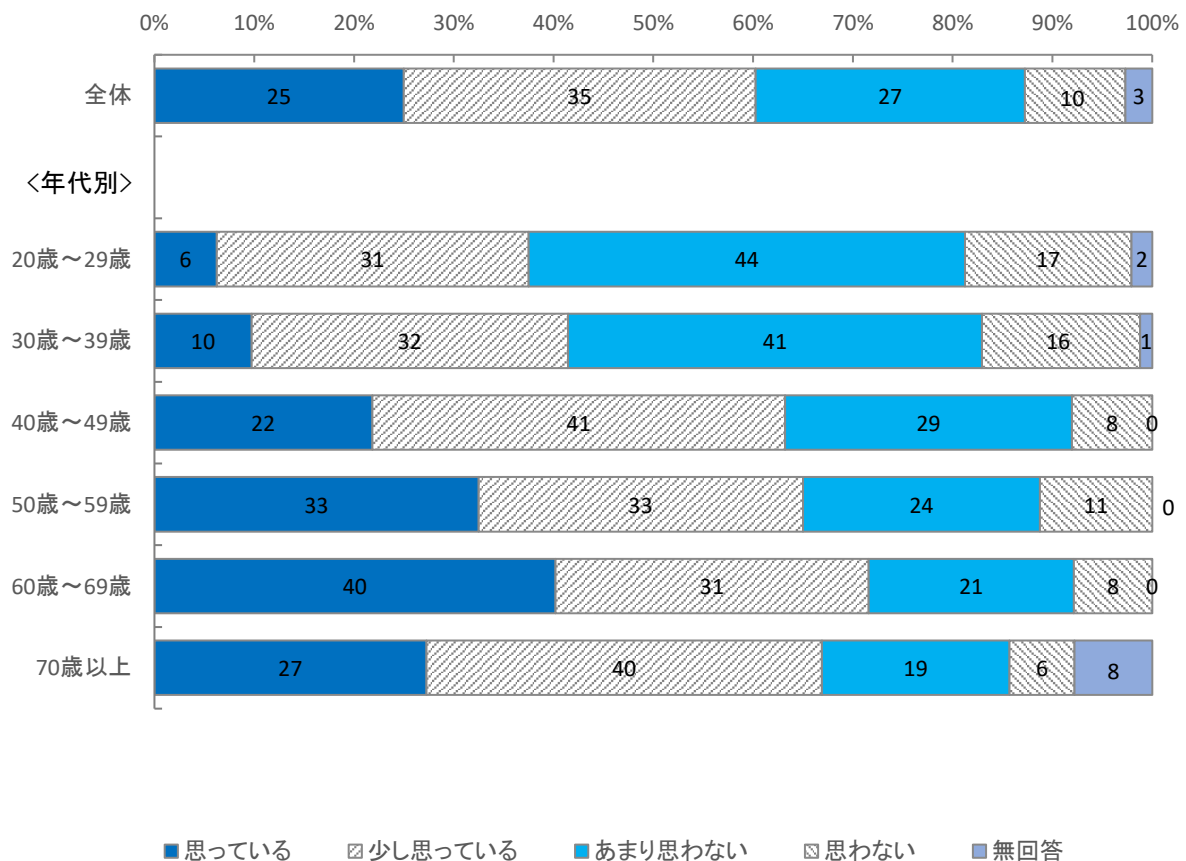
●7割以上の方が製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っている

- ・東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを「知っている」が41%、「少し知っている」が33%、合わせて74%となりました。
- ・年代別で見ると、40歳代以上で高く、各年代で80%前後となっていますが、30歳代以下では「知らない」が高く、40%を超えています。
- ・東成区には、製造業を中心とした大小さまざまな企業が数多く存在することを、広報紙や区ホームページ、イベント等を通じて、引き続き情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問19 あなたは、東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに思っていますか？

	項目	回答数	比率(%)
1	思っている	139	25
2	少し思っている	196	35
3	あまり思わない	150	27
4	思わない	56	10
	無回答	15	3
回答者数		556	



●6割の方が「モノづくりのまち」である事を誇りに思っている

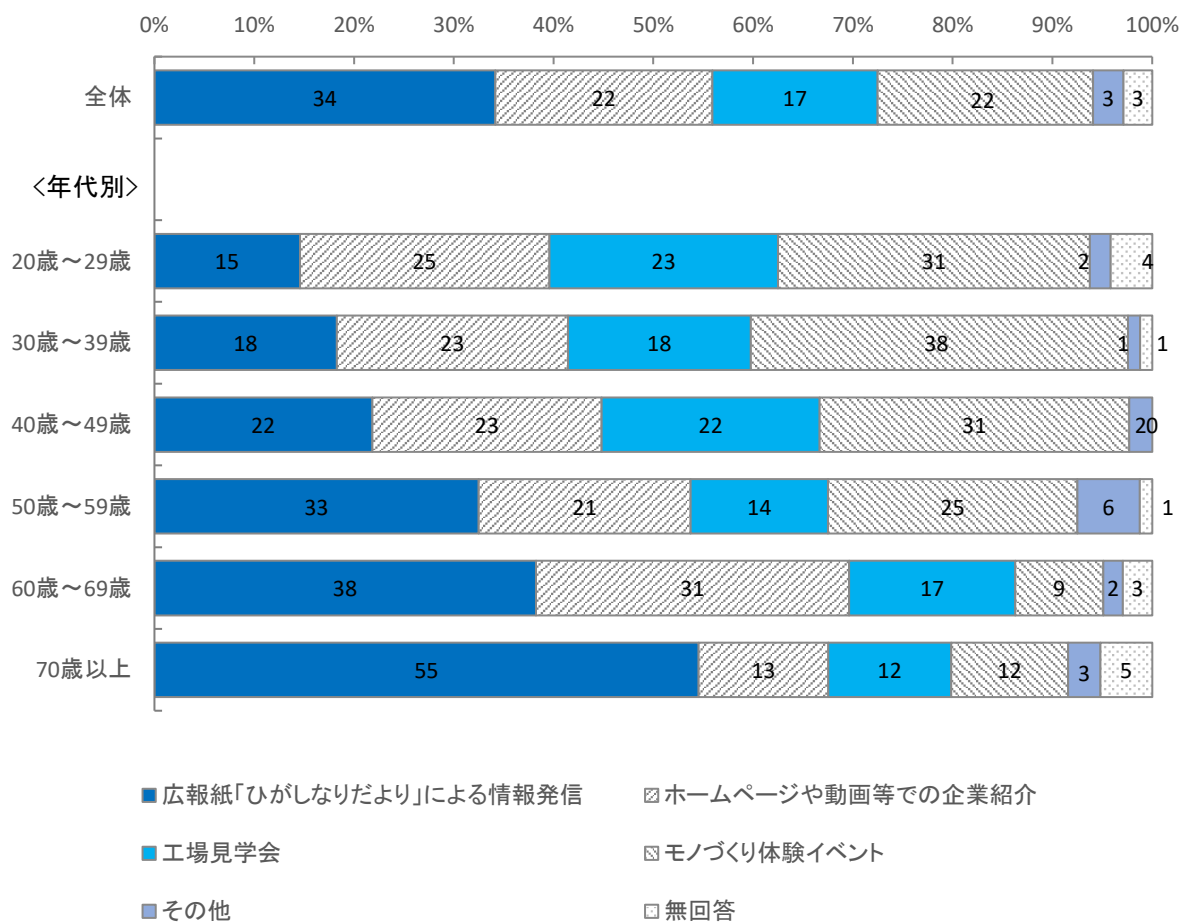
- ・東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに「思っている」が25%、「少し思っている」が35%、合わせて60%となりました。
- ・年代別で見ると、「思っている」、「少し思っている」を合わせた割合は40歳代以上で高く、30歳代以下では低低くなっており、問18と同様の傾向にあります。
- ・東成区では、地域資源である「モノづくり」にスポットを当てた様々な取り組みを行っているので、広報紙や区ホームページ、イベント等を通じて、引き続き情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問20 今後、東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらうためには、何に重点的に取り組めば良いと思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」による情報発信	190	34
2 ホームページや動画等での企業紹介	121	22
3 工場見学会	92	17
4 モノづくり体験イベント	120	22
5 その他	17	3
無回答	16	3
回答者数	556	

- その他の主な意見
- ・ 誰に知ってもらいたいのか、知ってもらうことで何をしたいのか、具体性を持って広報してほしい。
 - ・ 工房のような場を作る。



●広報紙「ひがしなりだより」による情報発信を重点的に取り組むべきと考えられている

- ・ 「広報紙「ひがしなりだより」による情報発信」が34%で最も多く、「ホームページや動画等での企業紹介」と「モノづくり体験イベント」がともに22%で続いています。
- ・ 年代別で見ると、年代が高い世代ほど、広報紙「ひがしなりだより」による情報発信の割合が高く、40歳代以下の世代では「モノづくり体験イベント」が高い傾向にあります。
- ・ 東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらえるよう、今後とも広報紙「ひがしなりだより」を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区では、マルチパートナーシップによる地域・社会課題への取り組みや、にぎわいのあるまちづくりを推進しています。

＜ひがしなりソケット＞

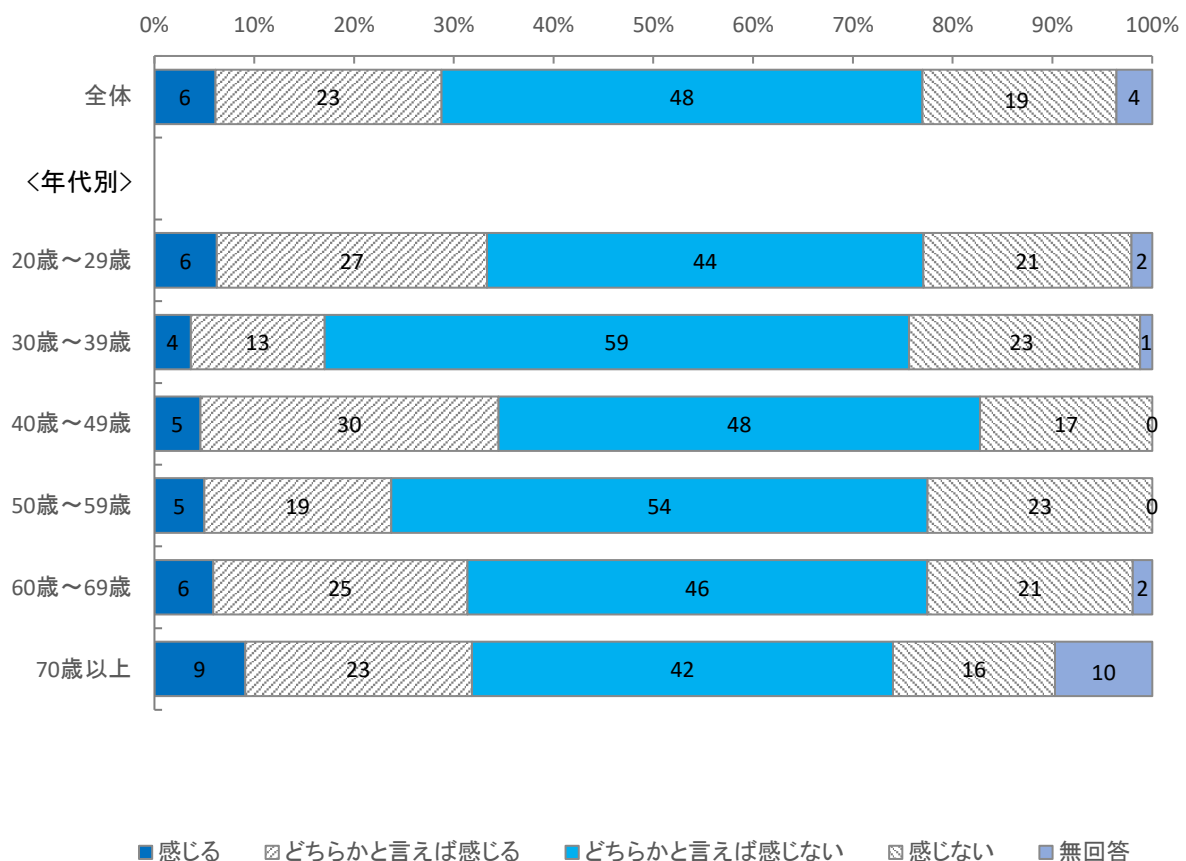
企業や団体等が協働して、地域・社会貢献につながるアイデアを生み出す場を提供しています。

＜東成こどもモノづくり体験フェスタ＞

区内モノづくり企業等の協力を得て、「モノづくり体験」の場を小学生に提供しています。

問21 あなたは、区役所の取り組みを通じて、企業・団体等が相互連携して、課題への取り組みが推進されていると感じますか？

項目	回答数	比率(%)
1 感じる	34	6
2 どちらかと言えば感じる	126	23
3 どちらかと言えば感じない	268	48
4 感じない	108	19
無回答	20	4
回答者数	556	



●区役所の取り組みを通じて、3割弱の方が課題への取り組みが推進されていると実感

・「感じる」の6%と「どちらかと言えば感じる」の23%を合わせた、肯定的な回答の割合は29%でした。昨年度の肯定的な回答の割合は、合計20%となっており、9%割合が上がった結果となりました。

・しかしながら、最も多くの割合を占めているのは、「どちらかと言えば感じない」となっており、年代別では、30歳代で最も高い割合(59%)を占めています。

・具体的なまちづくりの活動を知ってもらえるよう、広報紙や区ホームページ等を通じて、引き続き情報発信に取り組んでいきます。

自由意見欄のご意見等

※ご意見やご要望をわかりやすく掲載するために、一部抜粋や修正を行っています。

＜防犯・交通安全について＞

・今里新道筋商店街では道幅が狭い上、自転車に乗ったまま走る人が多くて危険である。幼稚園児を乗せた女性や高齢者が混雑した時間帯にも商店街の中を走り抜けていく。商店街の中では自転車を降りて、歩くようにマナーアップを呼び掛けて欲しい。

・夜パトロールをしてほしい。

＜地域福祉について＞

・東成区に住み始めて何年も経つが、問8(地域福祉の取組みについて)や問12(地域福祉の相談窓口について)の取組みについて何も知らなかった事が残念である。もっとアウトリーチを積極的に行い情報を広めて欲しいと思った。

・高齢者の一人暮らしで身寄りもない場合の、死後の手続きや住居の整理など生前からトータルに相談できる窓口があれば精神的に楽になれると思う。

＜在宅医療・在宅介護について＞

・コロナ禍の中、在宅医療が広まり今後、必要と感じる。一般の方にも在宅医療の流れが理解できる案内や説明を推進していただきたい。

＜まちづくりについて＞

・問20(「モノづくりのまち」の取組みについて)について、もっとポスターや区役所などでアピールすべき。ものづくりは素晴らしい。良い町をもっと知ってもらうべき。

＜その他＞

・色々な取組みをされていると思いますがその情報を目にする機会が少ないのでポスターや回覧板などで情報発信の場を増やせばもっと多くの人が知って利用できると思う。

掲載しているものの他にもたくさんのご意見等をいただいております。ご協力ありがとうございました。
いただきましたご意見等を参考にさせていただき、東成区政に活かしてまいります。

区民アンケートに関しまして、ご意見やご不明な点等がございましたら、
下記の連絡先までお問合せください。

【お問合せ先】東成区役所総務課(総合企画担当) Tel:06-6977-9683



東成区の情報はこちらでも発信してます！

LINE
(防災)



Twitter



facebook
(まちの魅力)



facebook
(子育て)

